

新春書き初め会

令和5年1月5日（木）

【目的】

小学校中・高学年の児童を対象に、日本の伝統文化である毛筆での書き初めを体験する機会を提供する。

【参加者】小学3～5年生 12名

【プログラムの内容】

書道ワークショップ、書き初め練習、書き初め清書、リレー書道

「書道ワークショップ」



①書き初めの歴史、②筆の持ち方、姿勢、③作品制作のポイントについて学び、書道や書き初めについて理解を深める機会とした。参加者は、文字ごとの大きさによって見え方のバランスが変わることや、筆の使い方によって線の幅が調整できることなどを体験的に学んでいった。

「リレー書道」



全紙サイズの大きな紙を用い、参加者によるリレー形式でひとつの作品を完成させた。参加者にとって初めての体験であり、「習字（字を習う）」ではなく「書道（字を使った芸術）」としての書き初めにふれ、伸び伸びと楽しみながら活動している様子が見られた。



「書き初め練習・清書」



学年ごとに決められた書き初め課題の制作に取り組んだ。参加者は、講師の指導を受けながら書き方の改善を行っていき、最終的に自分が納得いく作品を完成させていった。完成させた作品は掲示を行い、参加者同士や保護者といっしょに鑑賞した。



【参加者の声】

- ・しゅうじがにがてだったけれど、こんかいいろいろなことをやって、少しすきになりました。
- ・リレー書道がたのしかった。
- ・とっても楽しかったので来年もやってください。

【成果】

- ・書き初めや書道に親しむ機会を提供することができ、参加者満足度の高いプログラムとなった。
- ・県内在住の書道講師との関係が構築でき、今後の書道・書き初めに関する事業展開が期待できる状態になった。

【課題】

- ・応募が募集定員に達しなかったことから、教育事業としての訴求力が十分でなかったことが考えられる。
- ・自然体験活動との融合など、自然の家が主催する意味のあるプログラムの構成を検討する必要がある。